

令和4年度 校内研究および光陽中学校校区教育について

1 研究主題

主 題 「地域や学校に誇りを持ち、たくましく生きる児童生徒の育成」 (H26～)

副主題 ～互いに認め合う環境の中で、自分の考えを主体的に表現する活動を通して～

(R4～)
〔～自分の目標に向かって考えを主体的に表現し、互いに深め合う活動を通して～ (R1・2)〕

キーワード:「ユニバーサルデザイン (R1・R2)」「主体的」(R3)「主体的・認め合う」(R3)

- ・「誇りをもつ」とは、人との関わりの中で、共有体験、成功体験そして賞賛される体験によって、自分たちの良さや可能性に気づき、自己存在感を高め自信とすることである。
- ・「たくましく生きる」とは、基本的な習慣や規律を守る態度、基礎基本を身につけ、自らの目標に向けて、主体的に取り組み（自ら学び考え）、人との関わりの中で、自己を高め続けていくことである。
- ・具体的には、教員が、自ら課題を見つけようとする態度、試行錯誤して問題解決を図る態度、他と協力してよりよく問題解決を図る態度、より深く理解をしようとする態度、知識理解を定着させようとする態度、身につけた知識を活用しようとする態度、自ら傾聴する、考える、発表する態度などを育成することである。

2 研究主題設定の経緯

平成26・27年度は、学習に特化し、児童生徒が主体的に学習に臨むための取組を行った。

平成28年度は、自ら進んで学んだことや自分の考え・気持ちを積極的に伝えることを中心に研究を進めた。

平成29年度は、前年度の取組を継続して研究を進めてきた。これまでの主体的な学習の工夫や基礎学力の定着と授業規律、社会性を育む人間関係の構築と規範意識に加えて、対話の必然性を高め、学びを深められるような課題や発問、展開の工夫についても研究に取り組んだ。「どのように学ぶのか」という手立てばかりでなく、「何ができるようになるか」や「何を学ぶのか」ということにも重点を置いて取り組んだ。平成30年度は、前年度の取組を継続発展させて研究を進めた。

令和元年度・2年度は、誰にとっても分かりやすい授業づくりのほか、環境整備、規律等に関するルールの明示化など、学校生活全体の中でユニバーサルデザインを意識した教育活動を行った。

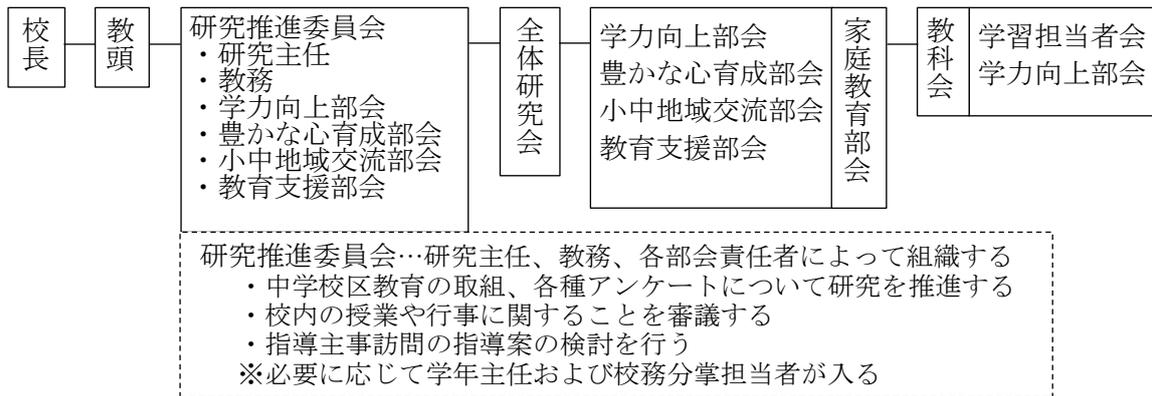
令和2年度は、前年度の小学校、本年度の中学校の学習指導要領改訂に基づき、副主題にもあるように、主体的な学び、対話的な学びを意識した授業改善の取組を行っていく予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止により、年度はじめから約2ヶ月間の休校措置が取られ、校区の連合音楽会や地域のボランティア活動など、多くの学校行事・特別活動も延期・中止、あるいは、従来と異なる形式での実施となった。年間を通じて、研究実践において大変厳しい状況であった。

令和3年度は、改めて、「主体的」をキーワードに、児童生徒が学ぶ意味と自分の人生や社会の在り方を主体的に結びつけていくような実践活動を行った。また、ICTの本格的活用の初年度として、タブレットを用いた学習活動はもちろん、中学校区アンケートの運用等、研究活動においても新たな試みが見られた。感染対策により依然として制約の多い一年ではあったが、オンライン会議の積極的な導入をはじめ、諸活動において新たな形式や運営方法を模索し、小中合同清掃ボランティアの実施など、前年度より実りの多い実践活動を行うことができた。

今年度、副主題を上記のとおり改定した。前二年間から継続の「主体的」「表現する」はもとより、新たに各校からキーワードとして挙げた「認め合う」を意識していきたい。何を言っても許される、安心して発言できる「認め合う環境」づくりに取り組み、異なる意見や考えを知ることで学びが深まることを学習者一人ひとりに実感させていきたい。また、今年度は、中学校区アンケートの項目・運用方法等の積極的な見直しを予定している。市学校教育方針の改定にも伴い、校区の実践の検証として、児童生徒に本当に聞きたいこと・聞くべきことを、年間を通じて検討していきたい。

3 研究組織について

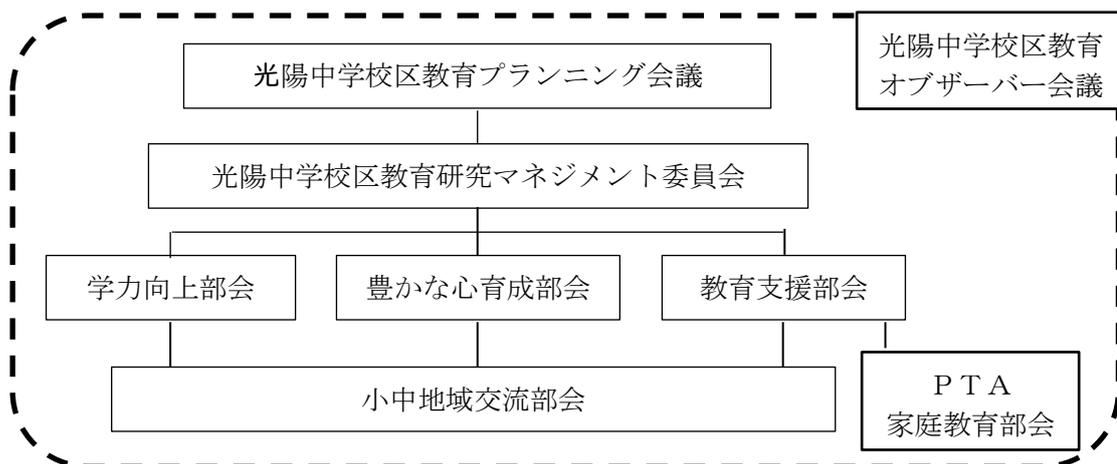
○研究組織



○担当教員（◎部会責任者）

学力向上部会	豊かな心育成部会	小中地域交流部会	教育支援部会
所属(以下を基本とする。)			
◎学力向上担当 ・教科主任または 教科代表者	◎道徳担当 ・特活担当	◎1学年主任 ・2、3学年主任	◎教育相談担当 ・生徒指導担当 ・特別支援担当 ・教務 ・養護教諭

○組織図(中学校区)



- 光陽中学校区教育プランニング会議(通称：プランニング会議)
 - ・各校長、中学校教頭(庶務)、中学校教務、中学校研究主任が所属し、研究方針の決定、研究内容・運営等の承認を行う。
- 光陽中学校区教育研究マネジメント委員会(通称：研究マネジメント委員会)
 - ・小中学校研究主任、各部長が所属し、プランニング会議の決定を受け、具体的な研究内容・運営等の原案を作成する。
- 各部会
 - ・研究マネジメント委員会が作成する原案を元に、具体的な研究活動を実施する。

- PTA家庭教育部会
 - ・各校教務主任、各校PTA代表2名が所属し、教育支援部会の活動を家庭教育の側面から支援する方策を検討し実施する。※PTA関係の代表は会長に一任。一人は女性。
- 光陽中学校区教育オブザーバー会議（兼 家庭・地域・学校協議会連絡会）
 - ・プランニング会議メンバー、各公民館長、各小中学校PTA会長が所属し、光陽中学校区教育の取組について意見交換をする。
- R4の各部会の担当校（部会運営は、2年を原則とした行政順の輪番制 R4は1年目）
 - 学力向上部会……………湊小 豊かな心育成部会…足羽小
 - 教育支援部会……………東安居小 小中交流部会……………光陽中
 - PTA家庭教育部庶務…光陽中

4 研究内容について

共通指導実践項目		
(0) 学びや生活の基礎基本を大切にする児童生徒の育成 ～共通指導実践項目の徹底～ ・元気にあいさつをする ・時間を守って行動する ・正しい言葉づかいをする ・まじめにそうじをする		
<p style="text-align: center;">学力向上部会 (担当校：湊小)</p> <p>「主体的に学ぶ児童生徒の育成」 ～みんなが分かる授業を目指して～</p> <p>(1) 主体的な学びを育む授業づくり ・各校の実態や研究内容を踏まえ、各校で重点項目を決めて実践する ・「ユニバーサルデザイン」「タブレットの活用」を意識した取組</p> <p>(2) 基礎基本の定着 ・各校の実態や研究内容を踏まえ、「書く、話す、聞く」から重点項目を決めて実践する ・対話的な学び（伝え合い）につながるような基礎基本の定着</p> <p>(4) 教師の学び合い ・他校の授業を参観・研究会参加</p>	<p style="text-align: center;">豊かな心育成部会 (足羽小)</p> <p>「自分やまわりの人を大切にできる児童生徒の育成」</p> <p>(1) 児童生徒の心に響く道徳的指導実践 ・道徳的指導一覧表の活用 ・自己肯定感を高める取組</p> <p>(2) 児童・生徒が考えを深めることのできる道徳の授業実践 ・「特別の教科 道徳」の授業実践 ・道徳の授業公開 ・評価方法の研究</p>	<p style="text-align: center;">教育支援部会 (東安居小)</p> <p>「校内における、チームとしての支援のあり方を考える」 ～個に応じた支援を行うために、校区内の各教員の児童・生徒理解力の向上を目指す～</p> <p>(1) 学校不適応に対する対策</p> <p>(2) 発達障害をもつ児童・生徒、気がかりな児童・生徒の支援</p> <p>・チーム支援のあり方研究 ・「家庭教育スタンダード」の活用</p>
<p>小中地域交流部会（光陽中） 「自己有用感および自己成就感の育成」</p> <p>(1) 小中連携、小小連携行事、地域貢献活動の企画運営 ○小中合同連合音楽会 ○小中（地域）合同清掃ボランティア ○小学生部活動体験 ○小中地域合同あいさつ運動</p> <p>・児童生徒が活動に対して高い意欲をもち、主体的に活動できる取組 ・活動後に達成感、成就感、自己有用感が高まるような評価</p>		

各部会の取組・方針

詳細：「令和3年度研究集録」

5 研究の進め方

○学習指導と評価の一体化

年度初めに校内共通の評価の仕方を作成し、それに沿った各教科の評価の仕方を定期的に作成する。全体研究会等で各教科の評価計画や進捗状況について話し合い、各教科で検討し修正する。

○研究実践の振り返り

生徒、保護者、教員へのアンケートを定期的に行い、結果を学校および教員の取組を検証する。

・意識調査アンケート

中学校区教育の取組全体の進捗状況を把握するために、4項目について、7月と12月の年2回実施する。いじめ調査4項目については、各学校で必要に応じて実施する。

・中学校区教育アンケート

各部会の目標達成のために下位目標が十分達成されているか検証し、取組を修正するために、7月と12月の年2回実施する。アンケート項目は、各部会の取組に関するものを各部会で設定する。

※R4年度、「校区教育アンケート」の見直し（項目・文言の修正・精選、運営の効率化等）

6 今年度の予定

月	校内研究	中学校区教育
4	年間指導計画提出	研究推進委員会 第1回プランニング会議 第1回マネジメント会議
5	全国学力・学習状況調査	小中合同部会 第2回プランニング会議 第2回マネジメント会議 第1回PTA家庭教育部会
6	指導主事計画訪問 I 家庭地域学校協議会	地域合同清掃ボランティア
7		第1回中学校区教育アンケート実施 第3回プランニング会議 小中合同研修会（各部中間報告会）
8	現職教育	家庭教育スタンダード振り返り（1回目）
9	学校祭（文化祭・体育祭）	第4回プランニング会議
10		第2回PTA家庭教育部会 地域合同あいさつ運動（～11月）
11	指導主事計画訪問 II	小学生部活動体験 教育ウィーク 家庭教育講演会
12	学校評価 県学力調査（SASA）	第2回中学校区教育アンケート 校内各部会振り返り 家庭教育スタンダード振り返り（2回目）
1		各部会各校代表者会議
2	現職教育	第5回プランニング会議 第3回家庭教育部会 小学生入学説明会
3	来年度の研究体制について 研究集録作成	校区教育のまとめ 作成

指導主事計画訪問について

- ・指導主事訪問日に、提案授業を行う。
- ・指導主事訪問日に、1つは道徳の授業を行う。
- ・提案授業を次のように割り振る。
 - a. 各教科のグループで、英・社・理・国・体・数・音美技家の順に輪番を組む。
 - b. (道徳・学活・総合)のグループで選択する。

※提案授業は、原則、輪番制で回していくが、光陽中でまだ提案授業をしていない先生を優先的に充てていく。

H31年度 前期(2コース) : 家庭科・道徳
後期(1コース) : 英語科

R2年度 後期(3コース) : 理科

※R2年度について

年2回の訪問日で、aグループからは社会科と理科の提案授業をする予定であったが、コロナ禍の影響により、年1回、提案授業も1つとなった。理科の授業者が当年度の提案授業を希望し、社会科はR3年度に先送りとなった。bグループの提案授業は行わなかった。

R3年度 前期(2コース) : 社会科
後期(2コース) : 国語科

※R3年度について

市教委より「年2回の訪問計画、提案授業は1回以上」との方針があり、前期後期各1回とした。bグループの提案授業は行わなかった。

※今年度について(案)

- ・「年2回の計画訪問、提案授業は年間1回以上」
- ・提案授業は各1回、年間計2回とする。
輪番では、体育科・数学科。前期・後期どちらで行うかは相談して決定する。
- ・一般授業として道徳科の授業を年間1回以上する。